



「ひまわりの丘」の環境にやさしいまちづくり

その2 【自然共生型ひまわりの丘プラン】

ひまわりの丘の動物たちが安心して暮らしていけるように、ポフは生きものたちにもやさしいまちづくりを始めたよ。

では、わたしたちの世界の生きものたちはどんな暮らしをしているのかな。



2 いのちの恵み

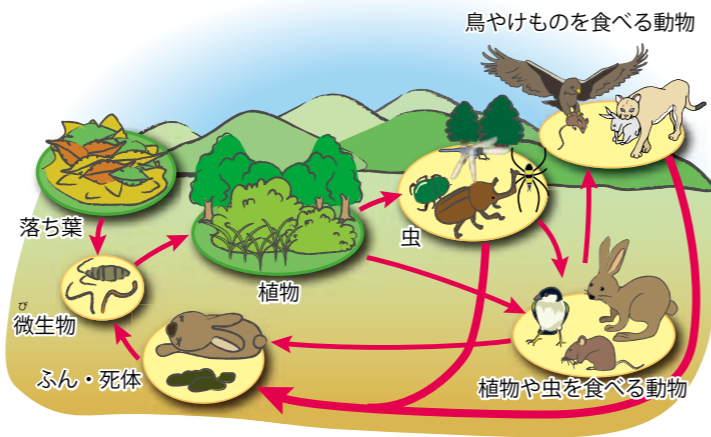
自然の中では、動物も植物も水も空気も土も、複雑にからみ合い、おたがいに支え合って生きています。どれかひとつ欠けても成り立たなくなってしまいます。

わたしたちがエネルギーを大量に使ったり、自然をどんどん破壊したりして便利な生活を手に入れた結果、地球の温暖化が進んでいます。このまま進んだら、生きものはどうなってしまうのでしょうか。

1 自然のしくみ

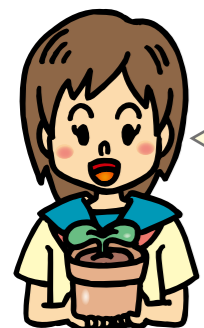
人間が自然を壊すことで、自然のしくみとバランス（生態系）が崩れることがあります。生態系が崩れると、自然の恵みを受けて暮らしているわたしたちも困ることになります。

自然の中で生きものは、食べたり食べられたり（食物連鎖）して、おたがいに支え合いながら、微妙なバランスを保って生きているよ。

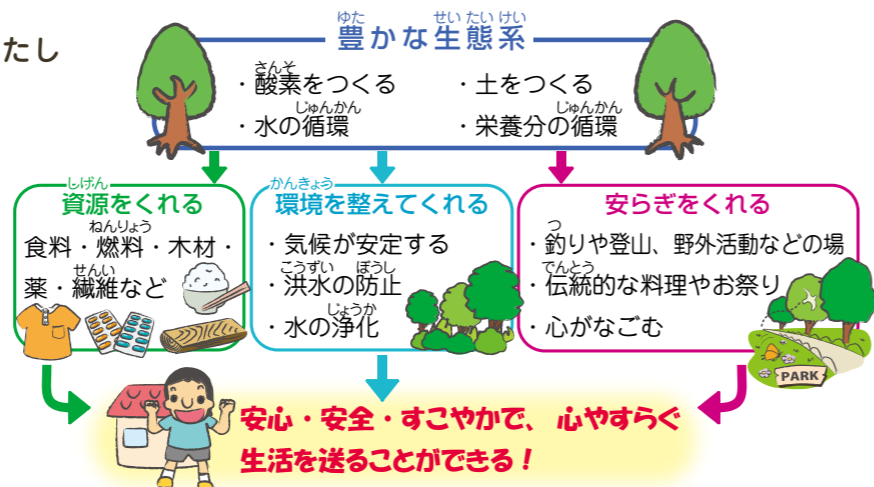


2 自然からのおくりもの

豊かな自然は、たくさんの恵みをわたしたちに与えてくれています。



わたしたちは毎日、野菜やお肉やお魚を食べたり、季節に合った服を着て、公園に出かけたり、丈夫な家にすんでいるわ。これらはすべて、豊かな自然のおかげなのね。



3 これからどうなるの？

人間による自然破壊や地球温暖化の進行によって、多くの生きもの数が減り、自然のしくみが崩れてきています。

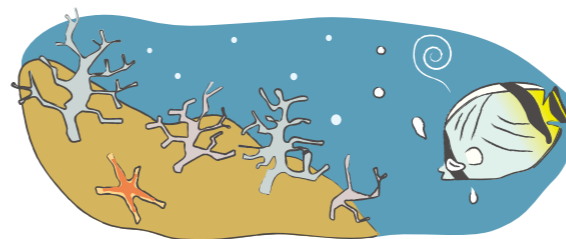
<地球温暖化による生きものへの被害>

温暖化の進行によって、サンゴ礁や北極圏など、さまざまな環境で生きものたちへの被害が出ています。

サンゴが生きられない

サンゴ礁は約4,000種ともいわれる魚たちのすみかとなっています。でも、海水温度が上昇して、サンゴが生きられなくなっています。サンゴ礁をすみかとしている魚たちもまた、困っています。

→サンゴ礁については、36ページをみよう。



すみかを失ったホッキョクグマ

北極の氷の上で生活しているホッキョクグマは、気温の上昇によって氷がとけ、生活場所がなくなってきています。



このままだと、生きものは、動物園でしか見ることができなくなっちゃうのかなあ。

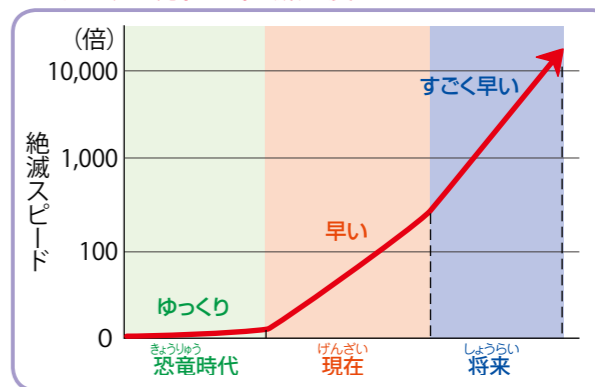


<絶滅する生きものが急増している>

恐竜などのように自然に絶滅したり、進化の途中で絶滅する場合に比べて、人間の活動が原因で、生きもの絶滅速度は100～1,000倍も早くなったといわれています。

また現在、鳥やけものの10%～30%が絶滅しそうだとされています。

●過去と現在の絶滅速度



！知っておこう！ 地球は一つしかない！「エコロジカル・フットプリント」

エコロジカル・フットプリントは、人間が食べたり、服を着たり、家を建てたり、電気などのエネルギーを使ったりするために必要な自然を面積で表したものです。

世界中の人が日本人と同じ生活をすると、地球は2.5個必要になるといわれています。

世界平均	1.25個
日本	2.5個
アメリカ	5.4個
オーストラリア	4.3個
韓国	1.9個
インド	0.4個

必要な地球の数

資料：WWF「Living Planet Report 2006」より環境省作成